

第 5 回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会

会 議 名	第 5 回杉並第二小学校校舎改築検討懇談会
日 時	令和元年 9 月 26 日（木）午後 3 時 01 分～ 4 時 55 分
場 所	杉並第二小学校 地下 1 階 家庭科室
出 席 者	懇談会委員 17 名
傍 聴 者	3 名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 第 4 回懇談会の主な意見等について 3 改築基本方針（案）について 4 校舎配置・平面概略図（案）について 5 閉会
資 料	資料 1 第 4 回懇談会の主な意見等 資料 2 改築基本方針（案） 資料 3 配置計画について（プール棟について） 資料 4 校舎配置・平面概略図（案）（1～3） 資料 5 校舎配置検討（案） 追加参考資料 杉二小改築での目玉設計としての「ゼロ・エネルギー建築」の提案

司会	<p>それでは、お時間になりましたので、本日は杉並区立杉並第二小学校校舎改築検討懇談会にご出席いただきまして、まことにありがとうございます。</p> <p>運動会をあさってに控えておりますので、多少子どもたちの声が聞こえてくるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>この後、およそ 2 時間を目安に進行していければと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、配付資料の確認を事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	（配布資料の確認）
司会	<p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>次第の 2 番「第 4 回懇談会の主な意見等について」事務局から説明をお願い</p>

	<p>いたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは資料1の「第4回懇談会の主な意見等について」簡単にご説明させていただきます。</p> <p>前回いろいろ議論していただきましたが、1つは改築基本方針のたたき台について、こちらのビジョン1に関しては校庭の広さについて発言等あったのですが、それ以外新しいものがなかったので記載はしておりません。</p> <p>1つ目の黒ポツについては、自然に恵まれた環境という部分でビジョン2に関する部分。また、同窓会からの寄贈のことについてはビジョン3に関する部分かと思えます。</p> <p>また、自然と文学を一体としていくのはすごくいいイメージだと思うという意見が出されました。</p> <p>次がビジョン2に関する部分で、日中だけではなくて、そういった安心して過ごせるようなというような内容のご意見をいただいたかと思えます。</p> <p>2番の校舎配置の検討については、共通の部分と各案について整理させていただきました。</p> <p>共通の部分は、上2つは大体セキュリティラインのこと、3番目、4番目については校庭への動線について、5番目、6番目については杉二小の立地の部分についてのご意見で、次も断面図が見られるようにということなので、立地に関する部分かと思えます。</p> <p>最後の部分は日照に関する部分、日当たりについてご意見が出ました。</p> <p>また、それ以外については樹木に関することと、ビジョンと配置の関係がわかりにくいということなので、今回資料4と5について工夫をした形で表記しております。</p> <p>A案からE案についての評価については事前に見てきていただいているかと思えますので、詳細については省かせていただきます。</p> <p>「その他」は、同窓会文庫のことやビオトープの配置のことについてご意見いただいたかと思えます。</p> <p>以上です。</p>
司会	<p>以上、前回の懇談会の説明をいただきましたが、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次第の第3番「改築基本方針（案）」についての議事に入りたいと思います。資料2として「改築基本方針（案）」が出されておりますが、前回から何か変更などありますか。事務局から資料の説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、資料2の「改築基本方針（案）」をご覧ください。変わったところは大きな部分になるのですけれども、ビジョンの部分が変わりました。それ以外についてはほぼ前回と同様になっております。</p> <p>第3回の懇談会で、子どもにわかるようなビジョンにしたほうがいいのではないかというような意見が出たため、第4回、桑田先生のご協力をいただきまして、事務局として案を提出させていただいたという経過がございます。前回</p>

	<p>の懇談会等の意見を踏まえまして、表記の形で修正をいたしました。ビジョン1から3についてはご覧のとおりです。</p> <p>このように大幅に変わったものについて少しご説明をさせていただきますと、ビジョンを前回、子ども用と分けるという形で提案をさせていただいたのですが、複数あるよりも1つにまとめたほうがわかりやすいということが1点あります。</p> <p>また、これまでのビジョンは目標の部分と内容が重複している部分もあったということもございます。また、ビジョンは端的に表現したほうがいいというご意見もございました。事務局でも検討いたしまして、このビジョンにさらにこれまでのビジョンを併記するような形も考えたのですが、かえってわかりにくい部分もありましたので、シンプルにこの形で提案をさせていただきます。</p> <p>また前回、子どもにでもわかるような語彙でというようなご意見もありましたので、校長先生ともご相談させていただきまして、杉二小の児童にもわかるような内容ではないかということでご了解いただいた上で、今回このように修正した内容となっております。</p> <p>目標や取組については、目標V. のところに「杉二小の伝統と特色を継承し」という部分が追記されましたが、それ以外は前回から変更点はございません。</p> <p>私からは以上です。</p>
司会	<p>第3回、第4回の懇談会でいただいたご意見をまとめて、スローガン、ビジョン、そして目標かなりすっきりしてきたと思われまます。ご意見、ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>それでは、この後、若干の修正等もあるかとも思いますが、事務局にお任せをして、懇談会としては、委員の皆様のご意見が基本方針としてまとまったとして、皆様よろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。それでは資料2の改築基本方針に沿って、これから議題についても検討していければと思っております。</p> <p>それでは、次第の4番「校舎配置・平面概略図（案）について」の議事に入りたいと思います。</p> <p>前回ABCDEの5案の提示がありました。</p> <p>前回いただいたご意見を踏まえ、事務局で2～3案に絞って、平面計画とあわせて詳細な検討を行うということになっております。今回は、平面プランも含めてのご意見と、配置図を決めていきたいと思っております。</p> <p>この間、事務局においてもさまざまな検討があったと思います。資料の説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>配置案につきまして資料4、5で詳細な説明を行いますが、前回の会議で4階建ても含めて再検討するという形になったかと思えます。皆様からいただいたご意見を踏まえ、事務局でもこの2カ月弱議論を重ねてまいりました。</p> <p>前回提示しました5案あったかと思うのですが、善福寺川緑地沿いに寄せていったAとB案は似ていたもので、今回A´案としてまとめました。</p>

	<p>また、C案は非常に評価が高いご意見が多かったと思いますのでC案と、前回、西寄りに配置したD案はあまり評価は高くなかったようなご意見だったのですが、4階建ても含めて検討し、少し配置を工夫していただいたので、その3案を今回提案をさせていただきました。</p> <p>E案につきましては全部改築ではないので、別のこの資料3を使ってご説明させていただきます。</p> <p>前回の懇談会で、資料1にもありますように、E案については積極的に支持するご意見はございませんでした。理由としては、効率的な配置ができず、校庭が狭くなってしまうということや、また、ビジョンとの関連性が薄いといったようなご意見等があったかと思います。</p> <p>そういったことを踏まえまして、また、第1回からプール棟についてはどうするかというようなことを課題として上げさせていただきました。こちらの表の黒ポツ2番目なのですけれども、誤字がありまして、中ほどの「53年建設の新耐震（建物）」とあるのですが、耐震建物なので、「新」を削除してください。</p> <p>プール棟につきましては、改築コストを削減するため、改修による長寿命化を図る上での残置ということも考えられたのですが、先ほど出たような意見、配置のことやビジョンとの関係、そういったようなもろもろの課題がございます。そういったことを総合的に鑑みまして、今回は全面改築を基本とするA案、C案、D案で進めていきたいと考えております。</p> <p>私からは以上です。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料3について、いわゆるこのE案はなくなったので、3つの案を検討することについて、ご意見、ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、全面改築でまとまりましたので、続いて資料4の説明をお願いいたします。</p>
<p>石本建築事務所</p>	<p>配置計画案につきまして説明をさせていただきます。</p> <p>今回の懇談会は、配置計画を確定することが目的です。前回の資料では、イメージしにくかった主要諸室、動線を落とし込み、もう少し踏み込んだ説明をしていきたいと思っております。その前に共通事項としまして、周辺環境について、もう一度確認できればと思っております。</p> <p>敷地は、西に熊野神社、鎌倉街道、南側に少し傾斜のきつい三年坂。東側に、善福寺川緑地公園と道路です。西側と東側の段差は約5.5メートル程度です。北、東、南側は、擁壁に囲まれ、丘の上にある敷地となります。この丘は、善福寺川と緑地公園に囲まれた、住宅地です。</p> <p>では、A案です。</p> <p>事務局から説明があったように、前回は、A、B案という形で2つあったのですが、配置的に似ているので、少しブラッシュアップし、なるべく校庭を広</p>

くとした案としました。

南東側にL字型に配置する案のため、メインアプローチは東側、サブアプローチは鎌倉街道側と考えました。内部の利用しやすさ、校庭への出入りを考え、昇降口は、中央の部分に置くことを考えております。

主要書室の配置は、採光に配慮し、南・東側。管理諸室、特別教室の配置は、校庭側と考えております。

体育館と学童並びに地域開放施設、会議室等は、時間外の利用しやすさに配慮し、ひとまとめのゾーニングとして、校庭側に計画しております。

給食室や災害備蓄倉庫は、段差を利用して、東側道路側にまとめました。

この配置によって導き出される施設コンセプト、1つ目は、緑地公園と活動的なつながりが持てる学校づくりが可能になることです。

現在は、緑地と学校との関係が、擁壁によって少し希薄な状態になっております。この案では、擁壁を取り払い、かつ大階段を設けることで、緑地と連続性のある計画になると考えています。

2つ目は、L形配置は、管理諸室から校庭への見守り、災害時の校庭や体育館のあり方を考えると、安心安全な校舎づくりが期待できます。

校庭は、緑地側の敷地段差を効率的に活用でき、鎌倉街道側に平場の部分を確保しやすいので、3案の中では3,400平米程度という最も広い校庭が、確保できると見込んでいます。

ビオトープの位置は、既存校舎撤去後の空きスペース、をうまく利用して、アプローチ動線とビオトープを並立して設けるような計画で考えております。

周辺環境のかかわりは、緑地側に面する校舎となるのが大きな特徴です。

近隣住宅への影響は、改築後の校舎の影は、北側を含めて近隣住宅地への影響が少ない案と考えております。音や砂埃は、北と西側が少し影響し、配慮する必要があります。プライバシーは、教室ができる南側住宅への配慮が若干必要になってくると考えております。

これらのことからA案は、擁壁がなく、緑地公園に面することができ、敷地の段差を取り込み効率的な校舎の構成ができる。それに伴って広目の校庭が確保できるという特徴を持つ案と、考えます。

続いてC案。資料4-2となります。C案は、北側に校舎を寄せた配置案です。

北側の配置で考慮すべきは、1つ目は、工事中に既存校舎を使うこと。既存校舎の中にも給食調理室の使用を前提とすること。2つ目は、建築基準法上の日影規制によって、同じ位置に現在の高さの建物は建てられず、2階程度の高さが限度となること。

工事手順、先に、校庭に面して必要最小限の教室と管理諸室をつくります。既存校舎解体後、北校舎をつくります。つくった後で、2階を渡り廊下でつないで一体的に使用と考えている計画です。

歩いていける通路ですが、東西をつなぐ通路、あるいはつなぐと中庭的な感

じも出るので、なるべく積極的に使う構成を考えております。

南校舎は、南側、東側の採光の普通教室、管理諸室。グラウンド、校庭を介して緑地側に広がっているという構成になります。

北校舎は、東道路と同じレベルに学童あるいは地域開放施設、給食調理室あるいは災害備蓄倉庫を置く計画を考えました。

北校舎は、特別教室の管理方法、放課後教室活動の拠点確保、体育館が校庭に面していないことも憂慮はございますが、南校舎の管理・教室棟と別棟となっていることから、セキュリティを切りやすく、時間外での地域活動はしやすい構成と言えます。

この配置による施設コンセプトは、鎌倉街道と善福寺川緑地を結ぶ通路、コリドーと、かつ2階に渡り廊下を設けて、1棟化する。1棟化すると、周辺環境を取り込むような学校空間としやすく、2棟構成とすると、地域と学校の関係の姿を感じさせるような配置になると考えております。

校庭は、日当たりがよい計画ですが、敷地内で建物のボリュームの占める割合が、非常に大きくなるので、3案の中では、最も狭い2,900平米程度の校庭にならざるを得ないと考えております。

ビオトープは、校庭をなるべく広くするため、小さくならざるを得ないという、欠点を持っています。

周辺環境とのかかわりは、東西の貫通路と緑地公園側に開けた校庭が大きな特徴の計画と言えます。

近隣住宅への影響は、基本的には、現況に近いと考えておりますが、改築後の校舎の影について、北側は校舎が低くなるので低減し、西側は若干引いているので、現況に近いと考えております。音や砂埃は、校庭、教室から北側の住宅への配慮が若干必要と考えております。プライバシーについても同様で、北側について、計画しながら配慮する必要があると考えております。

以上総じて申し上げますと、C案は、通年的な学校計画やこれまでの地域とのかかわりを含めた周辺環境、地域住民とのかかわりが良好な案とは言える案なのですが、配置計画上は、結果的に校庭が狭くなることが課題になる案と考えております。

続いてD案になります。資料は4-3となります。

D案は、西側に校舎を配置して、南東側に給食室、学童、地域開放施設、体育館を配置する計画案です。

校舎のアプローチは、校舎に近い道路側からと考えますと、鎌倉街道側からのメインアプローチと考えております。校舎の利用しやすさ、校庭への動線、東側からのアプローチを考慮していくと、このボリュームに対しては、真ん中あたりに昇降口を置くような形になると考えております。

西側の校舎は、校庭に面して東側1階に管理諸室、2階から3階については東側に教室を置いて、西側には1階から3階に特別教室、4階にプールを置くという構成としました。

	<p>南東側の校舎は、学童、体育館棟は敷地の段差を生かしまして、東側道路レベルに給食室と災害備蓄倉庫、1階に地域開放施設と学童、2階に体育館を置くという構成としています。</p> <p>地域開放利用は、南東の体育館棟が独立しているということから、時間外での地域活動がしやすい構造ではないかと思われます。</p> <p>ただ、バリアフリーという観点からすると、D案は、階段でアプローチという形ですが、学童、地域利用施設、体育館が、緑地公園側からの道路とどうしても段差ができてしまうところが懸念事項でもう少し検討する必要があるという配置プランです。</p> <p>この配置による施設コンセプトは、1つ目は、鎌倉街道側のメインアプローチと緑地公園側を開いた校庭、大階段のサブアプローチによって、緑地公園との一体化が図れること。</p> <p>2つ目として、右側、緑地側、緑地公園と一体的な校庭と、東側かつ緑地側に向く校舎、独立性を持つ学童、体育館等がそれぞれ自立的にある程度完結した形で置かれていまして、それぞれが機能的に相互的に連動利用できるような配置と考えております。</p> <p>校庭は、校舎の配置と敷地形状の関係から、若干小さくになると考えております。面積は、3,150平米程度と考えております。</p> <p>ビオトープは、A案と同じで、既存校舎撤去後の北西側の位置を検討しています。</p> <p>周辺環境とのかかわりは、校舎、校庭とも公園側を開く、景観的なかわりを持つことが特徴ですが、アプローチが交通量の多い鎌倉街道寄りになってしまうので、登下校時の安全性は、ほかの案に比べたら若干劣ると考えてもいます。</p> <p>近隣住宅への影響は、改築後の校舎が鎌倉街道寄りで4階建てになるので、西側の住宅地への影の影響が出ると考えています。音、砂埃は、校庭からは北側、校舎からは西側の住宅への配慮の必要があると考えています。また、プライバシーの配慮は、見おろすような形になるので、西側あるいは一部、体育館2階ということもありますので、南側の住宅について検討する必要があると考えます。</p> <p>以上これらのことから、D案は、学童、体育館棟が分離しているために、学校運営上効率的な配置案ではないかと思っており、景観的にも緑地との連続性のある配置計画となると考えておりますが、こちらにある学校空間とこの緑地が少し離れているのと、この敷地段差、これが学校空間の中うまく取り込めていないところについては、A案、C案に比べると、若干希薄と思われる配置と考えています。</p> <p>長くなりましたが、各案の説明につきましては以上となります。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>続いて、資料5の説明をお願いいたします。</p>

<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>資料の5を、私から説明させていただきます。</p> <p>「校舎配置検討(案)」は、設計事務所の方から説明があった3案について、こちらの相対評価で行っております。また、この評価については、これまでの区の実績等も考慮しまして、「◎」「○」「△」という3段階で評価をつけました。「◎」が最もよくて、「△」が最も課題があるという評価になります。</p> <p>評価項目については、こちら向かって左側のところで「校舎環境」等いろいろ書いてございます。こちら各「校舎環境」の下に括弧でローマ数字であるのは、ビジョンと関連性があるものについて、数字で記載をしております。</p> <p>また、特に注意点としましては、資料の中の工期やコストについては概算の数字になります。また今後、平面計画や外構等で詳細に設計を進めていく中で、変更になる場合があるのでご了承ください。</p> <p>では、各項目について改めて特徴等を確認しながら、比較・評価についてご説明をさせていただきます。横にというのですか、まず「校舎環境」については、C案を最も高い評価といたしました。理由としましては、校庭に面した南校舎に教室や管理諸室が集約されて、地域開放諸室が北校舎に集約されるので、扱いやすさとともに明確なセキュリティラインが確保できることを評価いたしました。</p> <p>A案を「○」、2番目に評価したのは、災害時の校庭と校舎の位置関係を鑑みまして、こちらの中には記載はないのですが、1階に体育館があるA案を2番目で、D案を「△」という形で評価をいたしました。</p> <p>続きまして「校庭環境」につきましては、A案を「◎」といたしました。これまでも要望で、杉二の特徴である広い校庭をできるだけ確保してもらいたいというようなご意見もございましたので、校庭面積が最も大きく確保できることや、2方向の道路に通じていること、また、こちら比較表には記載ございませんが、災害の際における校舎と体育館の位置関係なども考慮しますと、こちら体育館の位置も使いやすいので評価をしております。</p> <p>続いて二番目の評価がD案ということなのですが、こちらは体育館と職員室や保健室等の距離が近いD案を「○」、グラウンドコンディションは最もよいのですが、校庭が最も狭くて、体育館との距離も遠いC案を「△」といたしました。</p> <p>ちなみに3,400平米がAで、Dが3,150平米で、大体面積差が250平米なのですけれども、今度運動会あると思うのですけれども、大体2間3間のテントで換算すると、大体250平米だと14張ぐらいのテント分ということになるので、A案とCですと28張、かなりの面積の差が出るというところで、このような評価になっております。</p> <p>ビオトープについては、現在よりも校庭に隣接しましてアクセスしやすくなりますので、同じような評価ということになっております。</p> <p>続きまして「周辺環境との関わり」については、A案を「◎」としました。校舎と緑地側が近く、学校と緑地の関係が近くなることや、緑地側からの主な</p>
---------------------	---

	<p>出入口によって、登下校の安全性が向上することを評価いたしました。</p> <p>東西からもアクセスしやすいC案を次に評価をし、D案については鎌倉街道側からが主な昇降口となり、登下校時の安全性が相対的に低いD案を「△」といたしました。</p> <p>続きまして「近隣住宅への影響」は、こちらはA´案を「◎」といたしました。現在と比べた場合に、校舎による近隣への日影の影響が最も低減できることや、校舎による圧迫感も比較的少なくなることを評価いたしました。</p> <p>また、校舎の位置関係が現在と近く、近隣への影響の変化が少ないC案を「○」、二番目に評価し、西側の近隣への影響が大きくなるD案を三番目の評価といたしました。</p> <p>続きまして「仮設工事環境」につきましては、A´案を「◎」といたしました。工事期間中も既存の北校舎と体育館が利用できることや、全体の工期が短くできることから、児童への影響が最も少ない点を評価いたしました。</p> <p>仮設工事の期間が二番目に短いD案を二番目に評価いたしました。</p> <p>仮設工事の期間が最も長く、仮設工事期間中の既存校舎と仮設校舎との行き来にかなり長い距離を移動することになりますので、その課題のあるC案を「△」と評価いたしました。</p> <p>最後に「コスト」については金額のとおりなのですが、仮設校舎にかかるコストを抑制でき、校庭・東側道路との間の擁壁が少なく、外構工事にかかるコストを抑制できるので、A´案が最も低い概算金額となっております。</p> <p>次に、仮設が二番目に少なく、擁壁工事がA´案より多いD案が「○」で、仮設が最も多くて工期も長く、総コストが高いC案を「△」と評価いたしました。</p> <p>「総評」としましては、「◎」と「○」が最も多く、改築基本方針との関連性が最もあるA´案を「◎」と評価いたしました。校舎による校庭への日影の影響については、今後も検討すべき課題となっております。</p> <p>次に「校舎環境」「周辺環境との関わり」「近隣住宅への影響」についてよい評価となったC案を「○」といたしました。Cについては工期が長く、また、仮設環境やコストが高いという課題がございます。</p> <p>最後に教室、管理諸室とも緑地向きで見晴らしがよいのですが、「周辺環境との関わり」や「近隣（住宅）への影響」について課題のあるDを「△」と評価いたしました。D案については、工期やコストはA´案及びC案の間となっております。</p> <p>評価項目については、懇談会委員の皆様においても意見が分かれるところはあると思います。本日は各案の評価内容に関するご意見と、各平面計画についての改善案についてもご意見いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>各案について校舎・校庭の環境、そして周辺への影響、工事期間中の教育環</p>

	<p>境などの観点から、配置そして平面計画の比較が行われたとっております。特に今回は建物の中身の平面計画図の説明もありましたので、これまで以上により具体的に改築後の姿がイメージできたのではないかなと思っています。</p> <p>それでは、配置案についてのご質問やご意見をお願いいたします。</p>
委員	<p>資料5ですけれども、大変よくまとめていただいて感心したのですが、これを見て最初に思い出したのは、AHP「Analytic Hierarchy Process」分析という手法です。システムで意思決定するもので、世界的にも有名です。関西空港を和泉沖に決めたのは、5つの代替案に対して、その中で点数が最も高かったので、自動的に和泉沖に決まりました。</p> <p>AHPを、ここでやりなさいとするつもりはないのですけれども、まず評価項目について見ますと、本来学校を改築するということからいきますと、私は「校舎環境」の1番というのが、ほかの項目の5倍ぐらいの重みがあつてしかるべきだと思います。例えば2番目の「校庭環境」のA案が「午前中は影になる範囲が多い」にもかかわらず、なぜ「◎」にしてあるのか。これはおかしいのではないかと誰でも思うはずですが。この「○」や「△」は、AHPをすぐに連想したのですけれども、せめて「◎」か「△」かは、ここで、皆さんで、検討するべきではないかと思ひます。</p> <p>本来は、評価項目の重みというのは、私は1番目のほうを圧倒的に重くするべきではないかと思ひしております。</p> <p>少し長くなりましたけれども、ここら辺にしておきます。</p>
委員	<p>現在はかなりガクッと段差があります。校庭が、現時点では下がっています。現在の敷地面積のこの状況というのは、平面状態に描かれています。現状の段差をどうするのか。例えばA案のグラウンドは、既存の校舎の段差が高いところになっています。この段差はどうするのか。削ってしまうのか、埋めてしまうのかという、こういうことについての説明が少し不十分です。この点はどういうふうにご考慮されるのでしょうか。</p>
石本建築事務所	<p>ご質問なのですが、こちら、この敷地につきましては本当に難しい敷地と思ひしております。この各案の断面図、ご覧になっていただければと思ひのですが、A案は、鎌倉街道側よりも大体1メートル下がりぐらいの形で、既存の校舎のところの地盤面も削ってフラットにしていかななくてはならないと思ひしております。</p> <p>C案は、もう少し校庭を低目に。そしてD案は、A案より50センチほど高目に、フラットにしていかななくてはならないと思ひしているところでございます。</p>
司会	<p>ありがとうございます。そのほか。</p>
委員	<p>出入り口の配置は、考慮されたのでしょうか。</p> <p>これだと大体緑地から入ってくるのがメインになります。そうすると、例えば鎌倉街道を上がってきた子がまた三年坂をずっと下がつて入る。あるいは逆の方向から来たのが、公園へおりてまた入ってくるというような感じになります。</p>

	す。その辺どうなのでしょう。
司会	現在児童数が 580 名なのですけれども、170 名が、善福寺川緑地公園の三年坂のほうから入ってきております。それに 410 名程度が鎌倉街道のほうから入ってきているのですが、善福寺川のもう少し東側、阿佐ヶ谷住宅のあったほうから通う児童は、階段を上って鎌倉街道を越えて入ってきているので、もし善福寺川緑地公園のほうに門ができるのであれば、そういった東田中学校側の子どもたちはすべてこちらから入るようになると思っております。
委員	特に問題はないですか。現状から見て。
司会	そうですね。安全という面から考えると、鎌倉街道のところはかなり狭くて、また交通量も激しいので、善福寺川緑地公園のほうから入ってくるほうが安全であると思っています。
委員	校庭使っているいろいろ消火訓練などやります。そうすると車の出入りが、この絵だとどこから入るのか見えないのですけれども、その辺どうでしょう。A 案です。
施設整備担当課長	A 案でいいます校庭への出入り口については、鎌倉街道側の左上に書いています三角形の位置を想定しています。
委員	これは結構広い門が。
施設整備担当課長	具体的にスロープをどれぐらいの幅で設けるかは、今後検討する内容です。
委員	わかりました。
司会	そのほか。
委員	この評価の基準のところでは気になったのですが、改築後の高さによっては、最も西側の、北側と言ったほうがいいのか、このビオトープの境界線のところ、防音の対応が評価の基準に載っていないのではないかと、私は思いましたのでよろしくをお願いします。
施設整備担当課長	<p>私から説明させていただきます。</p> <p>グラウンドは、現在こちらの東側の善福寺川緑地のあたりの道路をプラスマイナス 0 としますと、現状のグラウンドの高さが約 3.5 前後でございます。A 案ですと 4.5 と書いてございますので、現状の地面よりも 1 メートルほど上げるような計画としてございまして、C だと 80 センチほど、D だと 1.5 メートルほどの段差の解消をさせていただきます。</p> <p>先ほど係長からも説明ありましたとおり、今回こういった配置の計画をさせていただきますけれども、門の入り口やビオトープをどのようにしつらえるかや、どのように植栽していくかについては、また今後の詳細な検討になってまいりますので、現状では L 形に配置したり、北側に配置したりと今回比較をさせていただいておりますので、先ほど係長からありましたこの「○」と「△」と「◎」は、校庭の面積の大きさ等とビオトープとの関係あるいは緑地との関係という視点で、とりあえず 1 つの案としてまとめさせていただいているというところ</p>

	でございます。
司会	そのほかご意見いかがでしょうか。
委員	<p>現在の阿佐ヶ谷住宅側から登校する子どもたちを見ていると、危険な箇所が何点かあるので、このA´案であったり、善福寺川緑地側の入り口にしていただけると、きちんとガードレールも整備されていますし、歩道がきちんと明確化されているので、子どもの安全には、私は善福寺川緑地のほうにメイン出入り口をつくっていただけるといいと思います。</p> <p>でも、案がどの案がいいというのが、本当にずっとお話を聞いていて思ったのですけれども、全ての図面に関してプールが一番上、4階や、3階、上になっているのですが、これは必ずしも上にしないといけないのでしょうか。現在のこの季節の変わりというか、この夏も暑さは少しまじったかもしれないのですけれども、非常に天気によって左右されていて、子どもたちが思う存分、楽しく水泳の授業ができたかといいますと、結構温度によって左右されて、子どもたちにとっては悲鳴を上げる子から、悲しんでいる子からといろいろいたのです。そういうことに左右されないようにするためには室内、もしくは、地下に入れていただくということは難しいのでしょうか。</p> <p>もう1つ、災害備蓄倉庫が給食室の隣に全面的に描かれてはいるのですが、体育館に災害備蓄倉庫というのは必要ではないのでしょうか。お願いします。</p>
石本建築事務所	<p>プールの件につきまして、こちらからご回答させていただきたいと思っております。今回敷地が非常に狭いので、いわゆる地面に置くような形は少し難しいと思っております。先ほどあったように屋内化ができないか、あるいは屋内化でも地下に持っていったり、屋内化をしなくても、屋上等に屋根をかけたりは、今回はどうしても面積的に非常に厳しいという状況がございます。</p> <p>まず何よりもそこのございまして、この改築計画につきましては、敷地を非常に有効に使える屋上と考えています。</p>
営繕係主査	<p>災害備蓄倉庫の件は、基本的にトラックで物資の搬入等を考えておりますので、どちらかの道路と同じレベルで設けたいというのが前提にございまして、搬入の関係から、現在お示ししているA´案ですと、東側の道路と同じレベルで一度計画はしてございますけれども、実際の使い勝手等も含めまして、今後の検討する項目ではあるとは思いますが、意図としてはそういった形で設計をしております。</p>
防災課長	<p>防災課です。災害備蓄倉庫ですけれども、こちらの備蓄倉庫は、近隣の学校の分も入ってございます。東田中等、この近隣の学校の分も入っているので、災害備蓄倉庫は公道に面したところに設置をしております。杉二で使う物品は、A´案でいいますと、体育館の2階部分のところに「防災倉庫」というのが図面で記載されているので杉二で使うものは、こちらの防災倉庫に入れて対応します。</p>
司会	そのほかいかがでしょうか。

委員	<p>環境というよりは中の設備の話というか、施設の話なのですけれども、児童数の増減の話もテーマに出たかと思いますが、例えば高井戸の学校だと、教室が足りなくなっていて廊下で授業をやっていると話も聞く中で、その辺のボラティリティというか、どれぐらい増減に耐え得るのかの観点のご説明が少しなかったと思います。</p> <p>最もわかりやすいのは現在と比べるのがいいと思うのですが、普通教室だったらどれぐらいの数の増減があるのかや、「多目的スペース」「特別教室」等々文字はあるのですが、これが果たしてどれぐらいのボリュームがあって、どういったキャパシティの変化に対して対応できるのかというのがそれぞれもし異なるのであれば、ご説明いただきたいです。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>まずボリューム感については同じで、AもCもDも同じものを入れるということになりまして、そこでの違いはございません。今回諸元表という形でどの部屋を何部屋というのをお示しできればよかったです。今回大まかな配置を決めるというところなので、位置を表記させていただいています。</p> <p>ちなみに普通教室については、現在想定しているのは24教室分。プラス、少人数教室を3教室。多目的室というのは、桃二小の2つつながっている2教室分のものを最低2つで、それを状況によっては転用し、場合によっては31教室まで利用できるようなことを想定しております。それについては全ての案について共通です。</p> <p>また、特別教室等は全て同じ数で、どこに置くかというのはまた今後平面をお話する中で、いろいろご意見をいただければと考えております。</p> <p>以上です。</p>
司会	<p>そのほかございますでしょうか。</p>
委員	<p>今回の案をご提示いただく前の段階まで、我々案としていろいろ検討した段階では、前のC案が圧倒的に人気が高かったと私は聞いております。その理由としては校庭の日当たりがいい、グラウンドもそこそことれる。前の案を拝見しますと、校庭が3,700平米とれますということもあって人気があったと、推す意見が強かったと思うのです。今日の中身を見ていますと、A案に誘導されているような、そういう感じがするのです。</p> <p>例えば伺いたいのは、C案というのはベースとして配置の案としてはいいと思うのです。これをさらにグラウンドを広くできないのでしょうか。というのが1点と。</p> <p>もう1点は全く別なのですが、先ほど出ました防災倉庫。前も少し申し上げたのですが、あれが三年坂の最も下にあると。大水が出ればあそこからまず水がたまってきますから、あそこでは役に立たない。従って、あそこはなるべく置かないほうがいい。もし置くのであれば、少しかさ上げを検討したほうがいいのではないか、この2点について意見申し上げたいと思います。</p>
石本建築事務所	<p>C案の校庭の面積の件なのですが、1つは前回から大分おさめるべき部屋の内容が少し変わってきた。児童の人口増加率や、その辺の基礎資料をいただき</p>

	<p>ながら再度配置していった結果、学校の敷地に対するボリュームがどうしても大きくなるということがございます。かつ、緑化の法的な規制ということがございました。敷地の中に校舎を置き、かつ条例で決められた緑化を確保していくと、A´、C、D案の面積になります。前回との差は、実質的な校庭の広さを見込みとしたからでございます。</p>
司会	<p>防災課、お願いいたします。</p>
防災課長	<p>現在、設置している災害備蓄倉庫ですけれども、降雨で浸水したということは現在までございません。ハザードマップによりますと、50センチ未満となっていますので、多少かさ上げというのは必要になるかもしれません。建築の中で対応していきたいと考えています。</p>
委員	<p>この案をここでやっていたら17時までに終わりません、妥協案を提案したいのです。最初に申し上げました。「◎」「○」「△」というのはよく見ますと、これは順位をつけてあるだけである。</p> <p>例えば、5点満点で各評価項目の「○」と「△」というのをくっつけて、各委員に郵送して、送り返すことをすれば全員の意見もあっていいのではないかと。そういう提案をしたいと思います。</p>
司会	<p>委員、お願いします。</p>
委員	<p>私、前はC案を推していました。その最もの理由が校庭の面積が非常に広がったからです。結局有効面積が2,900となると、現在から1,000ほど減ってしまう。例えば運動会をやったとして、子どもたちの周りで見るテントが張れない。有効面積の中に書いていないですけれども、遊具や何かが建ってくると、どこかの学校でこの間やったように、子どもたちは運動会やっています、ほかの子たちは教室から見えています、そういう学校が実際今回ありました。別の理由ですけれども、そういうような状況下になりかねないので、先ほどお話があったとおり、C案でお願いするとしたら、校庭がもっと広くなれば校舎の位置や環境としてはこれが最もいいとは思っています。それができないのであれば、私はもうA´しかないかなと思っています。</p> <p>安全に登校ができるという緑地側からの入り口があること。それから、旧校舎と体育館が生きたままでこの4年7カ月の生活ができるということ。子どもたちのことをいろいろ考えると、この3つだけを考えると、これ以上のことがあるかわかりませんが、この中で考えるとこれが最もいいのかなと思っています。</p> <p>現在いらっしゃる方々もどうい学校生活になるのだろうかというのも、非常に心配されています。中庭が要るのかや、配置がどうなのか、細かなところはまた置いておいて、位置的には体育館が生きていて、校舎が生きていて、給食室が生きていて、そうした中で過ごせるのはこれが一番かと。点数をつけるまでもなく。幸いなことに、コストが最も安いというのも役所ではうれしいのかもしれませんが。学校側としてはそういうような形でこちらがいいと思って</p>

	<p>います。</p> <p>ただ、課題点としては先ほどお話があったとおり、音の問題、砂埃の問題、非常に気になるところはあります。その辺の対策も含めて考えていただいて、私的にはCからA´に乗りかえる形で考えております。1,000も違うのは、幾ら何でも少し無理かなというのは思いました。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>C案は、2つの校舎になっていて、既存の段差を生かした形でつくられていると思うのです。そうすると北側は2階建て少し南側にずれた校舎が3階建てになるということは、現状からすると段差があるので、いわゆるここは同じ高さになるのですか。</p> <p>手前の校舎が高くなると、北側の校舎が完全に影になってしまいます。</p>
石本建築事務所	<p>C案についてご説明もう少ししますと、まず図の見方なのですが、「1F」については、北側も南側も同じ高さです。</p>
委員	<p>違いますでしょう。</p>
石本建築事務所	<p>同じ高さです。1階としては同じ高さ。</p>
委員	<p>1階は同じ高さ。</p>
石本建築事務所	<p>北側については「2F」と書いてあります。南側のL形の校舎と書いてあるのは、1階基準としたときに「3F」で考えています。</p>
委員	<p>少し高くなる。</p>
石本建築事務所	<p>一層高くなるで考えています。</p>
委員	<p>では、北側の校舎は完全に影になる。全く影になってしまう。左側からは完全に北側の校舎は影になってしまいます。</p>
石本建築事務所	<p>おっしゃられたように、季節によっては影に隠れてしまうということはあると思っています。</p>
委員	<p>私も前回まではC案だったのですが、副校長先生と同じように、私もA´案のほうが良いと今回思いました。</p> <p>1つ聞きたいのが、学童も非常に子どもたちの放課後の居場所で大事なのですけれども、現在「はっぴいタイム」という居場所事業も非常に人気で大事だと思うのです。それはどの辺に当たるのかを聞きたいのと、それに、C案とD案は駐輪場の記載があったのですがA´案だけがない。どこかにできるというのはないでしょうか。お願いします。大変必要だと思うのです。</p>
子どもの居場所づくり担当課長	<p>「はっぴいタイム」は、多目的室等を拠点として、継続していきます。なお、この案の諸元は仮でございますので、今後、利用しやすい場所を確保していきます。</p>
石本建築事務所	<p>駐輪場についてなのですが、A´案だけ記載が漏れてしまっておりまして、申し訳ございませんでした。ただ、具体的に考えているところとしては、いろいろなスペースが確保できます。例えばC案に描かれている駐輪場の波線のサイズや、その辺のところを考えていきますとA´案につきましても鎌倉街</p>

	<p>道側にも置けるでしょうし、東側にも置くことができる、今後詰めていく中でとれるのではないかとは思っています。</p>
委員	<p>まずC案なのですけれども、先ほど2棟式で、高さのこともあり、それから体育館がこちらの北側にぐっと寄った感じにできる、北側は民家がある、桃二を建築するときにも、体育館は現在、地域に夜間開放する方向が非常に強いです。そのときに、夜は周りが静かになる分、体育館の音が結構響く。そのため、民家に近いところには置かないほうがいいたろうという意見があり、そういう面から見ると、A´案は鎌倉街道を挟んでいるので、若干音の問題が解消されると感じました。</p> <p>それから前回までの話し合いの中で、今回も提案されまして追加された「杉二小の伝統と特色を継承し、」という部分で、ビオトープのことや、善福寺川緑地を生かすことが出てきたと思うのですが、ビオトープもある程度ゆったりした環境であればいいと思うので、この図面から見るとA´は若干広くとれている。</p> <p>そしてまたよく見ると、善福寺川緑地側に門が開くということによって、ここの通りの道幅が結構ゆったりしているの、私は非常に児童の安全面という面から見ると、実際は児童の数はこちらの熊野神社側から、鎌倉街道が多いようですが、こちらが開かれているというのは非常に安心感があります。</p> <p>それから、給食室の位置なのですが、結構搬入の車等の出入りがあるので、位置的には、それもまたこの児童の登下校とはずれているので、こちらの鎌倉街道ではなく、広いこの通りの角から搬入するのだろうということを見ると、図面上からはA´案もなかなかいいと思っています。</p> <p>何より校庭の広さは子どもたちのためには少しでも確保してあげたいというのは、私校長ではありませんけれども、非常に強い希望です。以上です。</p>
委員	<p>C案の地下1階の給食室、備蓄倉庫の上、1階を見ると、トイレと階段がある。気になるのが、地下から1階に上がっていく階段はここにはないし、給食室の上にトイレがあるのは、衛生的に少し気になったので、階段のこととトイレについてお聞きしたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
石本建築事務所	<p>C案ですね、階段で給食室から直接作業員の方々が上の学校に入っていくことがどれだけあるのかと考えたときに、それほどでもないかと正直思っておりまして、直接この真ん中の貫通通路といいますか、そちらに出入りできればと考えて、階段につきましては外しています。これは今後の課題と、協議の中でも各案の中で出てくる話と思っています。</p> <p>トイレは、災害備蓄倉庫に寄っているの、直接給食室の真上に各階のトイレが置かれていないです。</p> <p>以上です。</p>
委員	<p>もう1つ。このC案では給食を運搬するためのエレベーターはないのですか。</p> <p>以上です。給食専用のエレベーター。</p>

石本建築事務所	給食の上げ下げのエレベーターにつきましては、仮にこれがもし選ばれたときに平面計画上の説明、もう少し詳細な検討をというところの中で検討したいと思います。現在では北側と、それと南側でそれぞれエレベーターを設けるといところで、実際そのエレベーターの配置についても今後検討していく形ではないかと考えております。
委員	要するに、資料の手抜きをしたということだ。
石本建築事務所	いや、手抜きというわけでは。
司会	委員、お願いします。
委員	<p>学校の給食事情について説明させていただきます。</p> <p>給食室のメンバーが給食をつくったらまず何するかというと、給食のエレベーターで各階に給食をワゴンごと持ち上げていき、各教室の前に給食の乗ったワゴンを置きまして、異物混入と最近言われていますけれども、そのために職員が必ず常駐して、何も無いように見守っています。そのため、必ずそれはないと困ります。給食室でつくったものは、必ず教室のところまで来て、安全に配膳されるまで確認しているという流れになっていますので、そこは設計の段階では大前提でもらいたいと思います。</p> <p>そのためD案で推せないのは、給食室でつくったものが渡り廊下を渡っていくというようなところが非常に、私、難点で入れられないところなのです。もちろん渡り廊下はきちんときれいにしてもらえるとは思いますが、距離が長ければ長いほど、また、渡っていかなければいけないほど、少し安全性が担保できなくなってくる可能性があるのです、そういうふうに考えました。</p>
司会	委員、お願いします。
委員	ビオトープから緑地公園側に行くアプローチなのですが、西国分寺の小学校、公園の中に学校があるところを見に行ってきました。非常に期待してどのような連携しているのだろうと思ったのですが、結局金網のフェンスに入りがついている感じだった。どういうのがいいのかもわからないのですけれども、どのようなアプローチになるのか教えていただきたいなと思います。
営繕係主査	<p>外構関係につきましてはまだまだこれからの計画段階でして、ルートとしましては、A´案で申し上げれば、ビオトープの東側にある階段を使って、一度道路レベルまでおりて、それからガードレールの間、あいているところを通過して、公園側に渡るようなルートになるかとは思いますが。</p> <p>その他の案に関しましても、基本的には一度道路側におりる、外部での通路を設けて、公園にアクセスする形になると思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>今日欠席の委員から配置について意見が来ておりまして、それについて報告させていただきます。</p> <p>前回、5案から3案に絞ってそれぞれ検討した内容はよく理解できましたと。その中でA´案が抜きん出てすぐれている判断、賛同いたします。</p>

	<p>理由は3つ挙げられておりまして、この土地の自然条件、周辺とのつながりをよく考慮している。2つ目が、校庭をより広くとることができる。3点目は、仮設校舎の建設が少なく済み、コストを抑え工期も短縮できると、ご意見をいただいております。それ以外、もしA案が選ばれた場合いろいろ意見は出ておりますが、配置に関する部分は、そのようなご意見をいただいております。以上です。</p>
司会	<p>そのほかご意見ございますでしょうか。</p>
委員	<p>3案の中で、評価についてはいろいろな、例えば重みというお話もありました。それはあると思います。</p> <p>一方で、この中の情報から見ると校庭が最も広いことと、それに、私はコスト及び工期ですね。工期に関して、もちろんAとDはそれほど変わらないのですけれども、Cに関しては1年ほど長いのは、学校運営の中でもそれは非常に負担になるのではないかと考えております。</p> <p>A案の中で幾つか出たご指摘の中で、例えば校庭のしつらえや、表面のしつらえ、その辺に関しては今後の検討の中で対応は可能ではないかと思っておりますので、私もA案のマイナス面は、今後の改善の中で対応は可能ではないかと思っております。</p> <p>簡単ですけれども、以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>そろそろ懇談会の意見を整理していきたいと思っております。A案、それからC案、D案、それぞれの特徴はあるのですけれども、先ほど校長としてというようなお話もあったのですが、子どもたちにとって校庭について考えてみれば、何よりも本当に広いほうが良いと感じておりますので、校庭を最も広くとってあるところ、そして何よりも既存の体育館が残せて、しかも現在使っている棟が全て使えるところは、本当にA案のいいところだと思います。</p> <p>また、周辺の影響も委員のご意見もありましたけれども、北側のところもしっかりとした防砂対策や音の対策を工夫していただける。</p> <p>それから、委員からありました工期のことです。C案にしてしまうと、工事中、仮設の図書室や学童、それから体育館、特別校舎にどういうふうに子どもたちを連れて行って、過ごさせて、またもとの校舎に戻ってくるかという、子どもたちの移動や安全のことを考えると難しい部分があると感じています。</p> <p>いろいろな教育環境の面、それから子どもたちの安全面から考えていくと、この中で言うとA案が最も良案ではないかなと思っております。懇談会として杉二小の配置はA案でいかがでしょうか。</p> <p>また、平面のところ、今日先ほど多くの委員から出された平面の配置について、また使い方について、それから外構の形について、鎌倉街道、そしてこちらの善福寺川緑地の擁壁の部分をどのように改善していくのかは、また次回のところで提案していただいで、まとめていくでよろしいでしょうか。</p>

委員	<p>1つだけいいですか。</p> <p>A´案で決めるのでしたら、先ほど言ったとおり、北側の防音装置をきちっとやらないと。ここだけ次の課題に入れておいてください。</p>
司会	はい。事務局、よろしいでしょうか。
教育施設計画推進担当係長	はい。
委員	<p>今回初めて案の中にビオトープが出てきたのですが、畑はどこになるのかと 思っていたのです。</p> <p>ビオトープは在来種、畑は基本的に外来種。それは別の場所でないといけ ないということなので、田んぼも含めて、この案の中でお考えなのでしょうか。 既に今回A´案と考えたら、次回以降でいいのかもしれませんが、そう いうことにも、配置にもかかわると思うので、お聞きしたいなと思いました。</p>
石本建築事務所	畑について確かに少し、配置の中で出していくかどうか、少しあったところ ですが、今後どこに実際は置いていこうかにつきましては、今後詳細を考えて いきたいと思っているところでございます。
司会	それでは、事務局から連絡事項についてお願いいたします。
教育施設計画推進担当係長	ご議論どうもありがとうございます。委員の提案についてはいかがいたしま しょうか。
委員	いいですか。
教育施設計画推進担当係長	お願いします。
委員	<p>一応、今回A´案と決まったような雰囲気でございますけれども、いよいよ 設計に当たりまして、これはぜひ設計事務所さんをお願いしたいと思って、急 遽資料をつくりました。</p> <p>教育長も昨年ぐらいから「持続可能な」ということを盛んにおっしゃって いました。第3回目の懇談会で、部長からも「これはぜひ考えましょう」とおっ しゃっていただいたのです。ここの議事録にきちんと残っております。</p> <p>これから50年、100年も持続可能な学校を考え「持続可能な校舎へ挑戦する 学校」をキャッチフレーズに、省エネルギーをやってもらいたいと思います。</p> <p>2枚目に、C案と思ったのですがけれども、間を、渡り廊下というのを上から ルーフをやると非常に採光もできます。奥の建物に対しては、光をとると思 うのです</p> <p>3つ案を出しております。最後ですけれども、例えば「靴履き替え場の二重 扉化」は、「エアーカーテン」というすばらしい技術を使ってみるとか。</p> <p>それから最後ですけれども、善福寺川自体の水量は少ないのですが、ヒートポンプによって川の水からエネルギーを取り出す。先端なのは下水の熱量を取り出すということも現在開発されて、実用化されています。こういうものを、少しお金が、イニシャルコストがかかっても、これはランニングコスト</p>

	<p>でやって大分ペイできます。</p> <p>それと学校で使う分だけの太陽電池にするのではなくて、FIT制度、休み中、長期の夏休み、冬休みの生徒さんたちがいないとき、太陽光で発電して、売ればいいです。学校も、そうやってエネルギーを売る。</p> <p>この意識が、子どもたちが大人になったとき、地球温暖化を杉二小においてやったということが、それがここに残ったら、大変立派な教育になるのではないか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>ありがとうございました。</p> <p>設備関係につきましては、今後実施設計等で取り入れられるものについては取り入れていきますし、難しいものもありますので、それはケースバイケースで考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>(連絡事項)</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後に学校整備担当部長の中村部長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
学校整備担当部長	<p>皆さん、長時間にわたり本日はありがとうございました。今日はかなりメインになる会になったと思いますが、一定の方向性をいただけたと思う反面、まだまだ課題は多いなという思いがございます。1つ1つ皆さんの声を聞きながら、丁寧に進めていきたいと思っております。</p> <p>今月、9月に高円寺中学校に新しい校舎ができ上がりました、まだ小学生は入っていないのですが、中学生がこの8月28日から新しい新校舎で勉強をしています。私もこの間行ってきましたけれども、中学生の笑い声が絶えない、本当にいい学校ができ上がったと思う反面、ご存じの方もいらっしゃると思うのですが、さまざま地域の方々とのいろいろなやりとりがあった学校でございます。</p> <p>もちろん学校をつくるに当たっては、この学校に通う子どもたちを第一に考えるのですが、それと同じぐらい地域の皆さんのお声、地域の皆さん、この近隣に住む皆さん方の環境の変化や、そういったことにもしっかり重きを置いて考えていかないと、学校のサポーターにはなってもらえないかなと非常に思っていて、今回、このA案でいくにしても、音の問題や、あるいはほこりの問題や、校庭の位置も変わりますから、しっかりとそういったお声をお聞きして、逆にその前にまた我々の案をお示しして、地域の方々からもお声をいただくことが必要かなと思っております。</p> <p>それともう1つは、この工事期間中に当たる子どもたちへのケア。これはもう大変重要と思っております、そういった意味でいうと、このA案は既存の校舎が使えることもある。それから副司会からもお話があったように、工期が短いこともあって、できる限り工期に当たる子どもたちの影響が少ないようにしていく。これも大変重要なことと思っております、そういったことも含めて、またさらにこのA案をブラッシュアップして皆さんにお示しをして、ご意見を</p>

	<p>いただきたいなと思っております。</p> <p>本日はまことにありがとうございました。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>今回ここで発言したいことがありまして、11月7日が次回だという話伺いましたけれども、私、実は参加できません。申し訳ないです。今回の設計図を見て私はわくわくして、非常によいものができると思います。</p> <p>しかし、地域の方たちに参加してもらおうのでしたら、できたら日程のことをできるだけ早く教えてもらうか、もしくは例えば6時以降や、週末。今回こういうふうに午後の3時半に集まっているのは、行政の方たちのご都合かなと私少し思ってしまうのですね。そうではなくて、本当に地域の方たちの声を聞くのであれば、夜に開催を、できたら検討していただきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
学校整備課長	<p>開催時間等については、委員から話があったように皆様のご都合をお聞きする中で夜間のほうがよいのであれば、当然我々は昼間開催にこだわりませんので、ご意見承っております。</p>
司会	<p>それではこれで閉会といたします。ありがとうございました。お疲れさまでございました。</p>